

第13回 骨寺村莊園 中尊寺米納め



一年の行事の締めくくりとなる、第13回「骨寺村莊園中尊寺米納め」が、12月15日(日)開催されました。今回も、米オーナーさんをはじめ、一般参加者、地元の厳美中学校、岩手大学、東北芸工大学、佐藤副市長をはじめとした関係機関の皆さん、地元住民を合わせ、総勢約90名の参加者が、午前九時に駒形根神社を出発し、うっすらと雪の積もった莊園内の川沿いを行進し、一路中尊寺を目指しました。慈恵大師拜殿で、光中住職による道中の安全祈願の御祈禱を行い、バス移動の後、平泉町役場にて歓迎のセレモニーを行って頂き、再び隊列を組んで、いざ中尊寺本堂へ。大長寿院の菅原光中ご住職にお迎えいただき、今年初めて骨寺村で栽培し収穫された「金色の風」や莊園米の「ひとめぼれ」、南部一郎かぼちゃ、薪などの供物を無事貢納しました。道中の約8キロを歩きとおした参加者の皆さんは、心地良い疲労感にも勝る満足感と達成感で、清々しい笑顔での記念写真の撮影となりました。今回納めたお米は、中尊寺のお正月行事や平泉・厳美の各中学校で利用して頂きます。また、今回の模様は、NHKの「おぼんです岩手」の中でも映像とともに紹介されました。隊列に参加された皆様をはじめ、町役場及び沿道から熱烈的な歓迎とご声援をいただいた平泉町の皆様、温かくお迎えいただいた中尊寺の皆様、さらにはご支援頂いたすべての方々に感謝と御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

令和元年度 骨寺村莊園遺跡 調査報告会・講演会
令和2年3月8日(日)13:30~16:00
会場：一関図書館 学習室
内容：①村落調査研究報告 ②発掘調査報告 ③講演会 ~講師~
岩手大学農学部教授 広田純一氏
※本寺から送迎バスが出ますのでご利用ください。沢山の皆様の参加をお待ちします。

2020~第6回~**3月8日(日)**
ほんでら春フェスタ開催
・マルシェ (古曲田家) 10:00~15:00
・ライブ (若神子亭) 13:00~16:30



岩手大学の 三月いっぱい 広田純一教授 退官

本寺の地域づくりの立ち上げ時より、多大なるご支援とご指導を頂いている、岩手大学農学部教授の広田純一先生が、この春定年となり、三月いっぱいを以て教授職を退官されることとなります。地元住民に胸襟を開き、多くの取り組みにおいて苦楽を共にしてきた先生の退官は、誠に寂しい限りですが、この先も大学には在籍し、骨寺にも関わって頂けるとのことですので、引き続きご指導ご協力のほどお願いいたします。

2020~令和2年~

記念すべき第1号



平成16年5月19日発行。
「莊園遺跡と共存する活力ある地域を目指して」
本寺地区地域づくり推進協議会の設立。会長に10区長佐藤武雄さんを選出。
「地区の全住民が協力して進むべき。本寺地区の未来に向けて一丸となって進む」と決意を語る。



第25号
平成19年9月15日発行

・イコモス現地視察
・ピオトーフ
・フォーラムほか



第50号
平成24年1月23日発行

・稲刈り体験
交流会
・南部一郎かぼちゃ
出荷開始
ほか

第75号
平成27年10月11日発行



骨寺通信

第100号

発行：本寺地区地域づくり推進協議会
岩手県一関市厳美町字若神子241-2
骨寺村莊園交流館内

明けましておめでとーございませう

本年も、本寺地区地域づくり推進協議会の活動に、御支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。さて、皆様のご協力のおかげさまで、協議会の発行する「骨寺通信」が、今号をもって区切りの第100号となりました。平成16年5月の創刊号の最初の記事は、本寺地区地域づくり推進協議会設立であり、以来約15年にわたり、この本寺の地域づくりの歩みとともに、その様々な取り組みをご紹介してきました。これからも、地域の様々な情報の発信ツールとして、見やすい紙面作り、また、タイムリーな発行に努めますので、今後とも、皆様のご指導ご協力をよろしくお願いいたします。令和二年一月
本寺地区地域づくり推進協議会 会長 佐々木 勝志

地域の伝統的 年末行事

~しめ縄&ミズキならし~



師走も大詰め、12月28日(土)、若神子亭では、ミズキならしと鏡餅の準備が、また、改善センターでは、老人クラブ「高砂会」の皆さんによる恒例のしめ縄作りが行われました。しめ縄は、邪気を払う結界を意味し、また、ミズキの枝に紅白の餅をならせることで、来る年の五穀豊穡と家内安全を願う、いずれも古くから行われてきた大切な年中行事の一つです。このような伝統的な慣習とその制作の技術を、受け継いでいく取り組みも必要なことだと思います。